

令和7年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	芸術	美術Ⅰ	全	2	高校生の美術Ⅰ(日文)	なし
学習の到達目標		・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じた表現方法を工夫し、創造的に表すことができる。 ・造形的なよさや表現の意図、美術の働きなどについて考え、構想を練ることができる。 ・主体的に幅広い美術の分野に取り組み、美術に対する関心を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	表現・鑑賞 絵画	「身近なものを描く」		「対象の造形的なよさや美しさを感じ取り、愛着などを基に、存在感や雰囲気をつ捉えて描く」	
	5月		・デッサンの基礎について ・画材の特徴と使い方		・形や色彩、明暗、質感などの造形的な特徴を捉えようとし、線の強弱や画材の特性を生かし手を動かす。 ・身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	
	6月	表現・鑑賞 デザイン①	「生活を彩る模様」		「日本や諸外国の文様を鑑賞し、表現の工夫や生活との関わりを感じ取り、形や色を考えてデザインする」	
	7月		・文様について ・凸版について ・生活の中のデザインについて		・文様の造形的な特徴を基に作風や様式などを捉え理解する。 ・文様の機能や効果について考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりする。 ・主体的にデザインの表現の創造活動に取り組む。	
	9月	鑑賞	美術作品の鑑賞		生活や社会の中の美術の働きや美術文化の見方や感じ方を深める。	
後期	10月	表現・鑑賞 映像メディア表現	「アニメーションの手法」		「さまざまな技法によるアニメーションを知り、表現のしかたを工夫して作品をつくる」	
	11月		・アニメーションの原理について ・映像表現について ・アニメーションの制作方法について		・映像メディア機器の特性や基本的な操作や機能について理解し、表現の意図に応じてそれらの特性を生かして制作する。 ・アニメーションの仕組みや特性を理解し、その特性を生かして創造的に構想を練る。 ・アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、撮影時の工夫、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深める。 ・主体的にアニメーションや映像メディア機器の特性を生かした創造活動や、鑑賞活動に取り組む。	
	12月	表現・鑑賞 デザイン②	「ポスターで伝える」		「伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する」	
	1月		・伝達するデザインについて ・発想の広げ方について ・文字のデザインについて ・色について(色の3属性)		・文様の造形的な特徴を基に作風や様式などを捉え理解する。 ・文様の機能や効果について考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりする。 ・主体的にデザインの表現や鑑賞の創造活動に取り組む。	
	2月	鑑賞	美術作品の鑑賞		美術作品などの見方や感じ方を深める。	